

おかげさまで2周年

第12回(5月)例会作品は「フリーダ」、7月「はおばあちゃんの家」、9月は「美しい夏キリシマ」

加古川シネマクラブは、設立から2年が経ちました。4月23日の総会に向けて、資料を整理していると、驚くことに、会計がギリギリのところまで黒字になっていたのです。少なくとも10万円くらいの赤字を覚悟していただけに、「Unbelievable! (信じられない)」といったところです。よくよく見ると、これには、いろいろな理由があるのですが、まとめると、会員・スタッフの皆さんや加古川での映画活動に賛同して便宜をはらってくれた映画業界関係者による、物心両面のご支援のおかげであることがよくわかります。

皆さんに感謝しながら、より良い映画を求めて3年目の活動に取り組んでいきましょう。

1 例会の報告とご案内

3月14日に総合文化センターで、第11回例会としてチェン・カイコー監督・出演で、父子の愛情をテーマとした「北京ヴァイオリン」の鑑賞会を行いました。128人の会員の皆さんが参加し、好評でした。

次回の例会は以下のとおりです。どうぞ、皆さんご参加ください。また、映画好きの人には、この会のことを伝えてください。

■名称/第12回例会「フリーダ」(123分)

■日時/2004年5月13日(木)

①PM2:00~②PM4:20~③PM6:30~(③の時間注意)

■場所/加古川総合文化センター大会議室(JR 東加古川駅から北へ徒歩15分、車は加古川バイパス加古川東ランプ北へすぐ)

■受付/入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡しください。

入会手続きを行っていない方は、受付で4箇月分の会費(2000円)を支払い入会手続きを終えてから、「例会参加券」をお受取りください。

2 例会作品データ

■タイトル/フリーダ(FRIDA)

■監督/ジュリー・テイモア

■主演/サルマ・ハエック、アルフレッド・モリーナ、エドワード・ノートン

■データ/2002年、アメリカ、カラー、2時間3分、35mm

■その他/2003年アカデミー賞作曲賞、2003年アカデミー賞メイクアップ賞

■会員の声/フリーダ・カーロ(1907~1954)はメキシコの女流画家である。18歳の時に乗車中のバスで事故にあい、瀕死の重傷を負う。その時に絵画に目覚め、21歳年上の壁画家ディエゴ・リベラと出会う。個人的には、ただの中年太りでありハンサムとは言えない浮気性のこの男のどこがいいのだろうかと思うが、メキシコの革命で共に同志として、友人として付き合い合っていた二人だが、いつしか結婚。ディエゴの浮気にも耐えつつ、絵を描き続けるフリーダ。彼女の作品は独創的で自分の精神世界を細かいタッチで表現している。時に優しく、時に狂氣的な……。フリーダ自身も、ロシアの革命家トロツキー、彫刻家サム・ノグチ、アメリカ人のカメラマンなどと恋に落ちたが、生涯を通して愛しつづけたのはディエゴであった、47年という生涯の中で……。とい

う、フリーダの人生が100%感じられる作品である。(香)

3 TSUTAYA での雑感

先日、ついにレンタルビデオのTSUTAYAの会員になりました。今まで会員にならなかった理由というと、家では、ビデオを観る習慣や時間も無く、レンタルの音楽CDは好みのものが少なくラヂオを流しながらの生活の中では、レンタル店に足を運ぶことは実に面倒だったからです。しかし、雑誌を見るために入った店内には、レンタルDVDが数多く並べていたのでした。その中に、「E. YAZAWA(ご存知だと思いますがロック界のスーパースター矢沢永吉です)」の音楽DVDが目にとまり、この思わぬ出会いによりすぐに入会し借りたのでした。

その他の棚には、意外にも名作映画が多かったのは少し驚きでした。マイナーなものがメジャー化していくのを見るという、嬉しいような残念なような気分にもなりました。映画は、映画館など世俗から離れた特別の空間の中で観るのが良いのです。レンタルとなると、最も便利で世俗的なリビングルームのテレビという箱の中に映るものを、リモコンを片手に持ちながら見てしまうことになりそうで……。作品の良さが減ってしまうのではないかと、勝手に変な気持ちになってしまいました。

といっても、見たかった映画が、近くの映画館で上映されなかったり、やむをえず見逃してしまったときは、品揃えの良いレンタル店の存在はありがたいものなのでしょう。私にとっては、それ以上に、町に出かけて、タイトルと看板だけを見て衝動的に観る映画は、多くの残念感と、稀に新しい感動と驚きがあって、ちょっとした博打性を伴った楽しいものです。(ハインリッヒ)

4 今後の作品について

前回までに、7月例会が「はおばあちゃんの家」であることはお知らせしましたが、9月例会が「美しい夏キリシマ」となりましたのでお知らせします。

例会作品については、例会選定会議で、会員の希望、周辺地域での上映状況などで候補作品を絞込み、その後、フィルムの入手の可否を確認し決定しています。実は、昨年度はフィルム入手経費が、作品選定基準に占めるウェイトが高かったのですが、会員数があと40名増えて200名を超えると、フィルム経費に振り回されずに、作品選定ができるようになります。

会員の皆さんには例会作品の推薦や、映画についてのご意見などをお寄せいただくとともに、この会の活動の趣旨に賛同いただける方に入会を勧めさせていただきますようお願いいたします。

※映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。ファックスまたはメールで投稿ください。

加古川シネマクラブ

〒675-0101

加古川市平岡町新在家752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 078-935-8528

E-MAIL cinemacclub@nifty.com

http://homepage3.nifty.com/cinemacclub